

平成20年11月5日

市川三郷町長 久 保 眞



平成20年9月19日付け、国道企第37号にて依頼の標記の件について別紙のしおり提出いたします。

道路行政についての意見・提案

山梨県市川三郷町

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など（様式①）

- ・ 道路の維持管理費は、地方交付税に算定されているが、現実には一般財源化され交付税算定分を道路財源として充当できないのが現実であるため、もっと使い勝手の良い「維持管理補助制度の充実」をお願いしたい。
- ・ 大都市では道路整備はもう十分であるという認識があるようだが、地方においては未だ不十分であり、特に合併後まもない市町村にとっては、合併前の旧町村間を結ぶ生活道路の整備が、新町の一体感を醸成するものである。
- ・ 橋梁の長寿命化計画においては、補助事業を行うためには現在ある橋梁の基礎調査を行う必要があるが、それは補助対象となっていない。また、15m以上の橋長以下でも重要橋梁は存在するがやはり補助対象となっていない。それにも関わらず国では、平成25年度までに「長寿命化修繕計画」を策定しなければ、橋梁架け替えの補助事業は受けられないということだが、もっと柔軟で補助対象範囲を拡充した制度にしていきたい。

②-1 地域の現状と抱える課題（様式②）

- ・ 大都市では道路整備はもう十分であるという認識があるようだが、地方においては未だ不十分であり、特に合併後まもない市町村にとっては、合併前の旧町村間を結ぶ生活道路の整備が、新町の一体感を醸成するものである。
- ・ 地方の国県道では、歩道の設置や歩道があってもバリアフリー化が不十分である。

②-2 地域の目指すべき将来像（様式③）

- ・ 地域活力の向上のため、中部横断道の早期開通は、沿線の本町及び峡南地域にとっては、最重要課題であり、町の将来が大きく期待される道路である。そこで、中部横断自動車道に関連する周辺整備事業への補助制度の拡充をお願いしたい。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）（様式④）

- ・ 主要地方道市川三郷身延線・通称黒沢バイパスの早期完成。
黒沢地内の渋滞緩和、子供やお年寄りの交通安全が期待される。